

平成28年度鳴門市学園都市化構想実施計画における教育研究活動一覧

教育研究活動名等	継続・新規の別等	内 容	実施学校・園	実施学校・園 担当者	鳴門教育大学 担当教員
①研修会、相談活動並びにプレイセラピー実践 【2.(1) 幼児教育・保育】	継続 (H26～)	保育士を対象とした研修会や保護者への相談活動を実施するとともに、保育園での気にかかる幼児へのプレイセラピーを、大学院生とともに実践する。	いずみ保育園	いずみ保育園 園長 波里 史子	中津 郁子 教授 (臨床心理士養成コース) 久米 禎子 准教授 (臨床心理士養成コース)
②幼児が進んで体を動かそうとする意欲を育てる保育実践「あそびのポケット」 【2.(1) 幼児教育・保育】	継続 (H27～)	季節や行事に合わせた伝承遊び、リズム体操、手遊びなどを幼児といっしょに遊びながら、体を動かす気持ちよさを感じることを目的とする。定期的に「あそびのポケット」の活動を学部生・大学院生とともに実施する。	鳴門東幼稚園	鳴門東幼稚園 副園長 桐原 豊美	湯地 宏樹 教授 (幼年発達支援コース)
③発達障害等を中心とした支援を要する園児に対する理解と支援についての研修会、教育相談 【2.(1) 幼児教育・保育】	継続 (H27～)	発達障害等を中心とした支援を要する園児に対する理解と支援についての教員研修会に参画し、具体的な対応方法について協議し、教員の日々の支援上の悩み解消に向けた相談を進める。	成稔幼稚園	成稔幼稚園 園長 喜多須 薫	井上 とも子 教授 (特別支援教育専攻)
④小規模校における算数授業の工夫 【2.(2) 学力向上】	新規	小規模校における小学校算数授業の工夫について、小学校教員と共に取り組む。	鳴門東小学校	鳴門東小学校 校長 濱田 健二	金児 正史 准教授 (教員養成特別コース)
⑤基礎・基本からの取り組みで国語学力を高める 【2.(2) 学力向上】	継続 (H27～)	国語学力を高めるために、聞くことや書くことの基礎・基本から子どもたちの問題点を捉え直し、聞くことや書くことの力を基礎・基本から鍛える。具体的には、次の事項に取り組む。 ○ 絵本の読み聞かせ ○ 立腰教育 ○ 音読活動 ○ 日記指導	鳴門西小学校	鳴門西小学校 校長 加藤 寛司	言語系コース(国語) ○余郷 裕次 教授 幾田 伸司 教授 小島 明子 教授 原 卓治 教授 村井 万里子 教授 黒田 俊太郎 講師 田中 大輝 講師
⑥アクティブラーニングを用いた中学校数学授業の工夫 【2.(2) 学力向上】	新規	中学校数学授業における生徒の学力向上を目的として、アクティブラーニングを用いた数学授業の創出と工夫を中学校教員と協働で模索する。	鳴門中学校	鳴門中学校 校長 池淵 隆義	自然系コース(数学) ○佐伯 昭彦 教授 秋田 美代 教授 平野 康之 教授 松岡 隆 教授 宮口 智成 准教授
⑦保幼小連携推進研究事業 【2.(1) 幼児教育・保育】	継続 (H27～)	保幼小における発達や学びの連続性を踏まえた円滑な接続を目指し、保育園児、幼稚園児、小学生が鳴門教育大学多目的広場において本学学生と共に自然体験活動を行い、その活動を通じて異年齢交流を行う。	鳴門西小学校 成稔幼稚園 いずみ保育園	鳴門西小学校 校長 加藤 寛司	(幼年発達支援コース) ○湯地 宏樹 教授 田村 隆宏 教授 浜崎 隆司 教授 木村 直子 准教授 塩路 晶子 准教授
⑧スマートフォン／タブレットゲームが子どもの心身に与える影響に関する研究 【2.(5) その他】	新規	幼児・小学校低学年児童の保護者及び小学校高学年児童・中学生を対象とした質問紙調査を通じて、スマートフォン／タブレットゲームが子どもの生活や心身に、どのような影響をおよぼすのか、絵本、テレビ、コンピュータゲームと比較しながら、その実態を明らかにしていく。	鳴門中学校 鳴門東小学校 鳴門西小学校 鳴門東幼稚園 成稔幼稚園	鳴門中学校 校長 池淵 隆義 鳴門東小学校 校長 濱田 健二 鳴門西小学校 校長 加藤 寛司 鳴門東幼稚園 副園長 岩崎 智美 成稔幼稚園 園長 喜多須 薫	湯地 宏樹 教授 (幼年発達支援コース)

※ ○印は、代表者を表す。

※ 対象の学校園 → 鳴門中学校、鳴門東小学校、鳴門西小学校、鳴門東幼稚園、成稔幼稚園、いずみ保育園

※上記の教育研究活動の詳細については、鳴門教育大学社会連携課(Tel. 687-6101)にお問い合わせください。